

2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エスエルディー

(証券コード：3223)



- I 2018年3月期 第2四半期 決算概要 P3
- II 下半期の取り組み、今後の展開 P14
- III DDホールディングスとの資本業務提携について P17

I 2018年3月期 第2四半期 決算概要

2018年3月期 第2四半期業績概要

2018年3月期 第2四半期 全社業績

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期 累計実績		2018年3月期 第2四半期 累計実績	
		構成比 (%)		構成比 (%)
売上高	2,839	100.0	2,622	100.0
売上総利益	297	10.5	231	8.8
販管費及び一般管理費	334	11.8	317	12.1
営業利益	▲37	—	▲86	—
経常利益	▲30	—	▲75	—
四半期純利益	▲26	—	▲348	—

前年同期比減収減益で着地

飲食サービス

【売上高】 ■ 既存店舗の不調、退店及び新規出店見送りによる減収（前年同期比▲8.0%）

- ・ 既存店の状況（前年同期比）
 - 売上高： 97.9%
 - 客数： 98.7%
 - 客単価： 99.2% ※既存店…集計対象期の前々期末までに出店した店舗（退店店舗除く）
- ・ 新規出店の状況
 - 神奈川県鎌倉市に1店舗（新業態「海沿いのキコリ食堂」）の出店を実施

【コスト】 ■ 材料費のコントロールは実現したものの、店舗運営人件費及び業態転換に伴うリニューアル費用が微増

■ 業績不振店舗の固定資産に係る減損損失215百万円を計上

コンテンツ企画サービス

【売上高】 ■ 夏びらき開催会場及び日程の拡大による増加はあったが、一部プロデュース案件の整理により減収（前年同期比▲1.0%）

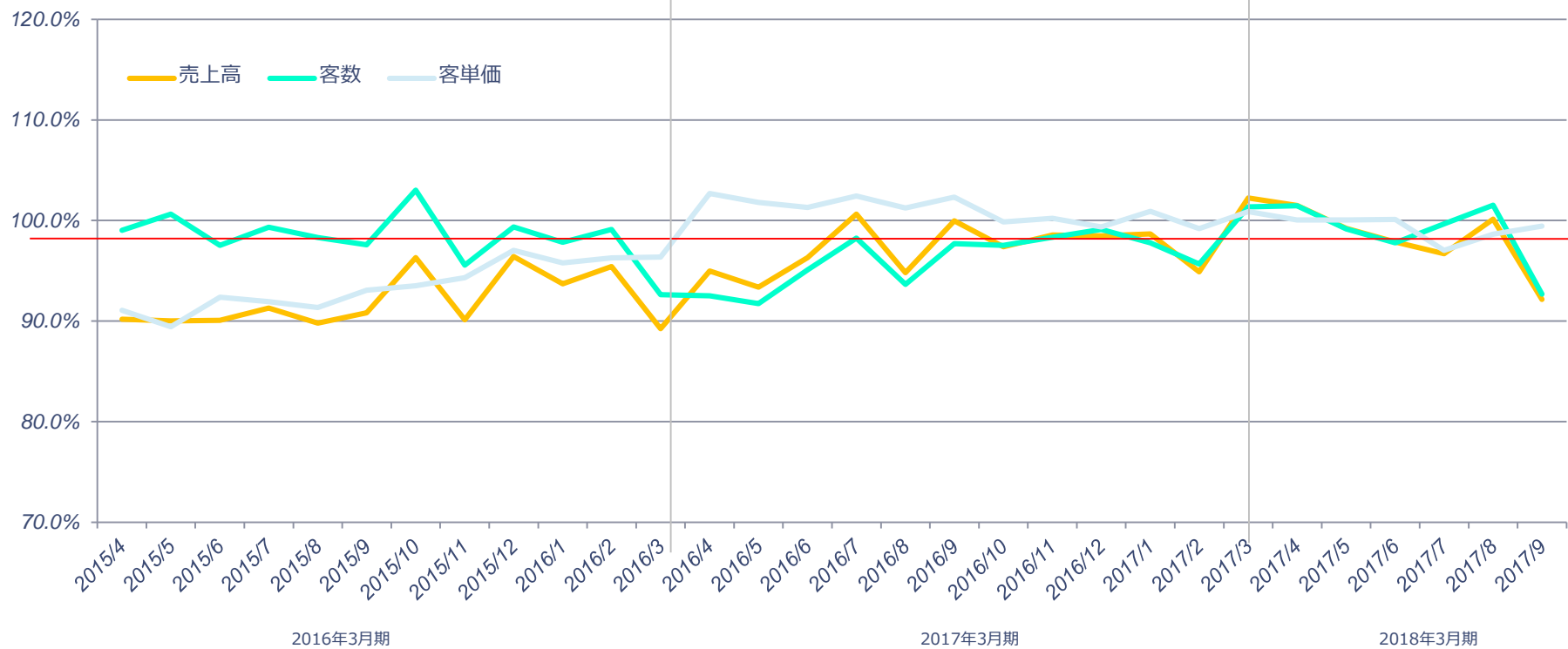
【コスト】 ■ 新規サービスに係る外注費等が微増

全社

【販管費】 ■ 一過性の支払報酬等の増加があったものの、全社的なBPR、業務効率改善による経費削減効果により減少（但し、上記減収により、販管費率は0.3ポイント上昇）

飲食サービス概要 – 既存店 前期比推移 –

※既存店：集計対象期の前々期末までに outlets した店舗



(単位：%)

	2017年3月期													2018年3月期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2Q (~9月)
売上高	95.0	93.4	96.3	100.6	94.8	100.0	97.4	98.5	98.5	98.7	94.9	102.2	97.6	101.5	99.2	97.9	96.7	100.1	92.2	97.9
客数	92.5	91.7	95.1	98.3	93.6	97.7	97.5	98.3	99.1	97.8	95.7	101.3	96.5	101.5	99.2	97.8	99.7	101.5	92.7	98.7
客単価	102.7	101.8	101.3	102.4	101.2	102.3	99.9	100.2	99.4	100.9	99.2	100.9	101.1	100.0	100.0	100.1	97.0	98.6	99.4	99.2

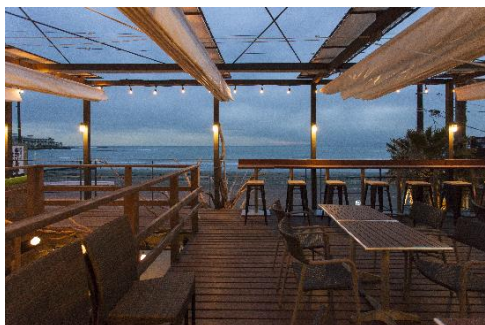
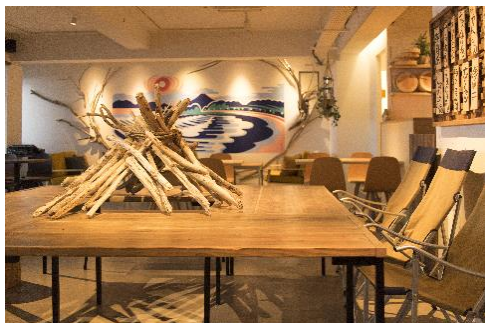
飲食サービス概要 – 新規出店概要 –

海沿いの キコリ食堂

所在地 神奈川県鎌倉市
グランドオープン日 2017年4月6日

2017年9月末現在 **65**店舗

(前年同期末比 純減3店舗)



売上高（4～9月）実績：予算比約123.3%

- ・メディア露出の獲得により、認知度向上に成功
- ・月2回程度でLOOP業態での営業も実施



Craft Liquor Stand

定額のチャージ料をお支払いいただくことにより国産酒等を安価で飲める新業態
既存店舗に併設する営業形態で実施（現在2店舗）

Craft Liquor Stand 銀座 (ワイン酒場 GabuLiciousとの併設)



Craft Liquor Stand 新宿 (HangOut HangOverとの併設)



飲食サービス概要 — 業態転換 —

2017年4月実施
渋谷エリア



「リトルチャイナハウス」をコンセプトに、創作中華料理を提供



空間はそのままに、装飾を変更
気軽にワインが楽しめる「にぎわい酒場」
らしい空間へリニューアル

2017年6月実施
銀座エリア



「太陽と月の光」をコンセプトに洋風
創作料理を提供



新業態「Craft Liquor Stand」（前
ページ参照）との併設店舗であり、
シーンに合わせた利用が可能な空間へ
リニューアル

2017年6月実施
横浜エリア



「寛ぎの空間としての居酒屋」をコン
セプトに隠れ家的な居酒屋業態



色(iro)の空間の特徴であった個室をな
くし、ワイン酒場らしく、人が集える
空間へリニューアル

Kawara CAFE&KITCHEN 静岡PARCO店

キャラクターとコラボした「パンパカパンツ×ポムポムプリンカフェ」を期間限定（2017年8月10日～10月1日）で開催。幅広い顧客層の獲得を図るとともに、新たな取り組みとして、オープンを記念したクラウドファンディングによる事前の食事券とグッズ販売を実施（プロジェクト目標額100万円に対し、達成率150%）。同コラボカフェ企画は、好評につきkawara CAFE&KITCHEN 吉祥寺PARCO店でも開催（2017年11月1日～12月3日）。



コンテンツ企画サービス概要 - イベント -

夏びらき MUSIC FESTIVAL 2017

2017年度は、3都市6日間とし、開催場所及び日程を拡大
売上高は、前年同期比129.2%の着地となった。

【来場者数】 9,000人（6日間延べ人数）



開催11年目
所沢航空記念公園（埼玉県所沢市）
2017年7月15日(土)・16日(日)・17日(月)

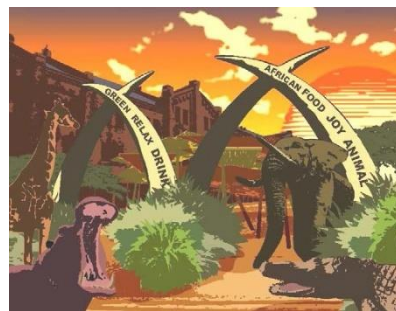


開催4年目
服部緑地野外音楽堂（大阪府豊中市）
2017年7月1日(土)



初開催
博多ベイサイドプレイスサンセットパーク（福岡県福岡市）
2017年7月8日(土)・9日(日)

Jambo FARM!! RED BRICK Paradise 2017



横浜赤レンガ倉庫 イベント会場（神奈川県横浜市）
2017年7月29日(土)～8月27日(日)

【来場者数】
会期中延べ人数 82万人（2016年：78万人／2015年：69万人）

【概要】
横浜にしながら海外のリゾートを体感できる空間として、2011年から実施されている「RED BRICK RESORT」。
当社では、飲食販売部門を2012年より6年連続で受託。
今夏の売上高は、天候不順の影響を受けて、前年同期比▲28.1%の着地となった。

コンテンツ企画サービス概要 -プロデュース-

既存案件の継続により安定的な収入の確保

JA全農福岡直営
「みのりカフェ」の運営
(福岡パルコ)



(株)カプコン直営
「カプコンカフェ」の
フード・ドリンクメニュー
プロデュース

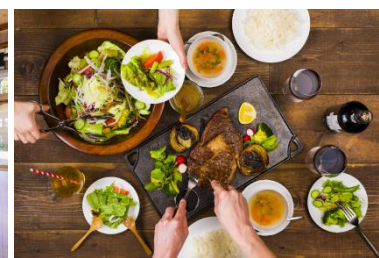


(株)ユーグレナ直営
「Euglena GARDEN」の運営
(沖縄県石垣市)



2017年3月30日
グランドオープン
オープン

JAあいち経済連
JA全農
「みのりカフェ」
「 Grillみのる」
(Maker'sPier)



みのりカフェ

MINORI CAFE

Grillみのる

GRILL MINORU

財務概要（貸借対照表／有利子負債の状況／キャッシュ・フロー計算書）

貸借対照表 概要

(単位：百万円)

	2017年3月期 期末	2018年3月期 第2四半期末	主な内容
【資産の部】			
流動資産	777	677	現金及び預金の減少(54百万円) 売掛金の減少(10百万円)等
固定資産	1,288	1,027	減損による有形固定資産の減少 (215百万円)等
【負債の部】			
流動負債	740	698	買掛金の減少(16百万円) 1年内償還予定の社債(9百万円)等
固定負債	586	642	長期借入金の減少(29百万円) 長期未払金の増加(81百万円)
【純資産の部】			
純資産合計	739	364	四半期純損失の計上(348百万円)と 剰余金の配当(26百万円) による利益剰余金の減少(374百万円)

有利子負債の状況

(単位：百万円)

		2017年3月期 期末	2018年3月期 第2四半期末
有利子負債残高	※1	688	654
有利子負債依存度	※2	33.3%	38.4%
自己資本比率		35.7%	21.3%

※1 有利子負債残高：短期及び長期借入金（1年内返済予定含）、社債（1年内償還予定含）の合計額

※2 有利子負債依存度：総資産に占める有利子負債の比率

キャッシュ・フロー計算書 概要

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期累計	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	▲41	税引前四半期純損失 (▲291百万円) 減損損失(215百万円) 減価償却費(50百万円)
投資活動による キャッシュ・フロー	▲56	業態転換等における有形及び 無形固定資産の取得による支 出(▲56百万円)
財務活動による キャッシュ・フロー	43	長期借入による収入 (95百万円) 長期借入金の返済による支出 (▲119百万円) セールアンド割賦バック取引 による収入(109百万円) 配当金の支払いによる支出 (▲25百万円)
現金及び現金同等物 の増減額	▲54	
現金及び現金同等物 の期首残高	406	
現金及び現金同等物の四 半期末残高	352	

Ⅱ 下半期の取り組み、今後の展開

2018年3月期 業績予想

2018年3月期 全社業績予想

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績		2018年3月期 第2四半期実績		2018年3月期 通期予想		前期比
		構成比		構成比		構成比	
売上高	5,505	100.0	2,622	100.0	5,169	100.0	93.9
営業利益	▲58	—	▲86	—	▲6	—	—
経常利益	▲41	—	▲75	—	▲6	—	—
当期純利益	▲171	—	▲348	—	▲281	—	—

【事業環境】

人件費の上昇や食材価格の高騰、同業他社との競争激化等を背景に引き続き厳しい経営環境が続くと予想される。

2018年3月期 サービス別売上高予想

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績		2018年3月期 第2四半期実績		2018年3月期 通期予想		前期比
		構成比		構成比		構成比	
飲食サービス	5,275	95.8	2,473	94.3	4,938	95.5	93.6
コンテンツ企画サービス	230	4.2	149	5.7	231	4.5	100.4
合計	5,505	100.0	2,622	100.0	5,169	100.0	93.9

下半期における改善施策

飲食サービスの業績改善

- グルメ媒体やSNSにおける集客効果及び施策に係るデータ解析の強化、P D C Aサイクルの改善
- キャラクターコンテンツ等との積極的なコラボレーションイベントの取り組み
- リピート客増加に向けた「現場力（店舗Q S C A）」に係るK P Iの再設定

組織体制及び事業運営方針の見直し

- 企画機能とオペレーション機能の組織的な整理による「現場主義」の再定義
- シンプルかつフラットな組織構築に向けて、会議体や業務フローの抜本的な見直し
- システムインフラの最適化
- 生産性の高い、小さな本部組織の構築

Ⅲ 株式会社DDホールディングスとの資本業務提携について

取締役会決議日	2017年11月14日
本資本業務提携契約の締結日	2017年11月14日
本公開買付期間	2017年11月15日~2017年12月13日
決済の開始日	2017年12月20日

シナジー効果の早期実現

- ▶ プロジェクトチームを組成し、物流、購買、販促、人材採用、店舗開発等各部門の具体的なシナジー効果の検討、早期実現に向けた取り組みの実施

飲食及びコンテンツ企画サービス事業の強化

- ▶ 人材交流、物件情報共有等により、店舗営業体制及び事業推進体制の強化を図る

本社コスト削減への取り組み

- ▶ 相互の本社組織の独立性を尊重しつつ、本社機能のリソース共有化や重複するバックオフィス機能の共通化に向けた取り組みの実施

DDグループの集客システムへの参加

- ▶ 「DDマイル」、「予約コールセンター」、「24時間オンライン予約システム」に参加し、お客様回遊性向上を早期に図る

配 当

- 株主への利益配分については、重要な経営課題の一つと位置づけ、各期の経営成績、企業体質の強化と将来の事業展開に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、配当を実施していくことに努めることを基本方針としております。
- 次期の配当金については、1株あたり年間配当金20円を予定しております。

株主優待

- 基準日：3月末
- 内容：年1回の実施とし、当社株式100株（1単元）以上保有の株主を対象に保有株式数に応じて、下記のとおり「お食事券」を贈呈いたします。
当社の直営飲食店舗において利用可です（Craft Liquor Stand、臨時店舗、運営受託店舗ライブハウスは除く）。

保有株式数	発行枚数
100株以上 300株未満	2,000円分（2,000円 × 1枚）
300株以上 500株未満	10,000円分（2,000円 × 5枚）
500株以上	20,000円分（2,000円 × 10枚）

※DDホールディングスグループの会員制度システム「DDマイル」の当社株主優待への適用につきましては、今後検討していく予定です。

会社概要

- 社 名 株式会社エスエルディー
- 設 立 2004年1月6日
- 本 社 東京都渋谷区神南一丁目20番2号
- 主要営業所等 国内主要都市における飲食等店舗数 65店舗（2017年9月30日現在）
- 代表者 代表取締役社長CEO 伴 直樹（2017年10月1日就任）
- 資本金 272,162千円（2017年9月30日現在）
- 株式市場 東京証券取引所JASDAQ市場（2015年3月19日上場）
- 従業員数 267名（851名）※（2017年9月30日現在）
- 事業内容 飲食店舗運営等を通じたカルチャーコンテンツ提供事業

※従業員数は正社員数であり、アルバイト、パート社員等の人員数は（ ）内に当第2四半期累計期間の平均人員を外数で記載しております。

本資料は、株式会社エスエルディー（以下、当社）の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しております。

本資料に記載された内容は、2017年11月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料において提供される情報は、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的に当該情報とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

本資料における将来の展望に関する表明は、今後の将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新・変更するものではなく、また、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料の更新・変更をおこなう義務を負うものではありません。

本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解頂くことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。